

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 青森市立東中学校 ] 担当教諭名 [ 高安 弘大 ] ( 1年 96名 )

相手国・地域 [ ベラルーシ ]

海外学校名 [ Gymnasium No.33, Minsk ] 担当教諭名 [ Natalya Razdobreeva ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	国際協働学習・SDGsについての学習	22
	英語	自己紹介文の作成	1
	美術	壁画制作(着彩)	4
	美術部	壁画の原画作成・仕上げ	8

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	「自然の豊かさと世界の平和」 Abundance of Nature and Peace in the World
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	それぞれの国の豊かな自然や四季、そして青森のねぶた、MinskのKupalleと呼ばれる夏祭りが描かれています。世界が大変な今だからこそ、自然や文化を守り続けていくことが必要だと考えています。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
今回のような機会もなければ知ることもなかなか難しかったベラルーシについて知ることができた。オリンピックや国際情勢のニュースの中に、Belarusという国名を聴くにつけ、親近感がわき、国際理解にもつながった。	オンラインでの交流が微妙に難しい時差であった。また、コロナ禍の影響で教育活動に制限がある中、新しい学校の生活様式に合わせた活動のあり方を探っていきたい。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
現在のウクライナ情勢のニュースを聴き、隣国であるベラルーシの友達に対して、様々な思いを馳せていた。また、世界情勢や歴史・文化に関心を抱く生徒が多くなったと感じている。また、プロジェクト型の学びに対して主体的に関わるようになった。	国際協働的な学習について意義を感じている。相手の国、そして同世代の子ども達の存在を意識することで、他教科の学習でも、どこか遠い国の話ではなく、親近感や実感を持てるようになった。また、一斉授業でのいわゆる知識伝達の授業ではなく、プロジェクト型の学びの必要性も強く感じている。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容(予定)、目標等についてのオリエンテーション</li> <li>自己紹介をしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際協働学習へ興味を示していた。</li> <li>英語科と協力し、英語での自己紹介動画を制作した。</li> </ul>	総合4 英語1
共有 テーマ学習	6月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsについての学習(Unicefの資料を使用)</li> <li>浅虫海岸清掃</li> <li>テーマを設定し、探究する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsについて、理解を深めた。</li> <li>清掃活動に積極的に参加していた。</li> <li>それぞれのテーマを設定し、調べ学習を行った。</li> </ul>	総合8
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べた事をまとめ、スライドづくり</li> <li>文化祭での発表</li> <li>東岳登山</li> <li>メッセージの作成と原画作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べた事をまとめ、グループや学年全体でシェアリングした。</li> <li>学区の東岳(標高652m)に登山。地域の方々も協力。</li> </ul>	総合8
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁画の制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自然の豊かさを守ろう」というメッセージのもと、生徒それぞれの込めたい思いを絵に表し、美術部の生徒がそれをまとめ、原画にした。</li> </ul>	美術4 部活動8
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りとまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベラルーシへ応援メッセージ</li> <li>完成した壁画はまだ届いていないが、写真を鑑賞し、振り返りと自己評価、感想文を書いた。</li> </ul>	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの身の回りや生活の中にある文化を見つめ直すと同時に、相手国の文化との違いを知り、深く考えることができていた。</li> </ul>
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会のあり方について考えることで、現代社会の様々な課題に気づくことができた。</li> </ul>
主体的に考え行動する力	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を自分ごととして受け止め、自分たちに何ができるのかを考えていた。学年生徒会のメンバーは、自分たちの地域のボランティアによる清掃活動を企画していた。</li> </ul>
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師を通しての交流が中心であったため、対話・協働する力という点では、課題が残った。しかし、壁画の制作では、美術部の生徒がリーダーシップをとり、学年生徒が協働することができていた。</li> </ul>
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>込めたい思いから主題を生み出し、それを形にすることができた。また、学年90人の思いをもとに、原画を作成することができ、制作は積極的に関わる生徒が多かった。</li> </ul>